

## 経営方針

### ～地域経済の発展に中立・客観・専門的な分析・提言で貢献する～

YMfgの経営の基軸となる『地域の豊かな未来を共創する』、『地域に選ばれ、地域の信頼に応える、地域価値向上企業グループ』の実現に向け、山口経済研究所の強みである『分析・提言』を活かし、YMfgエリアの総合的シンクタンクとして機能する。

創立50周年を第二創業の起点と捉え、財団法人が持つ『中立性・客観性』をバックボーンとして、『我々は、未来のため、未来を創るために在ること』といったYMfgの想いに向け、ステークホルダーに行動変容を促せる客観的指標の提供や、根拠に基づく政策提言が行える「専門家集団」に生まれ変わる。「地域に最も詳しく」を追求することで、大手コンサルティング会社に深度で差別化を図り、地域から最も頼りにされ、若手社員や学生が憧れるシンクタンクとなる。

## 事業戦略

### 調査研究事業のさらなる成長

客観的指標に基づく地域に精通した情報を、中立的な立ち位置で、国や広域自治体に逆還流させ、政策立案に関与する。また、国策の方向性を地域に還流させ、基礎自治体の政策や企業の経営戦略の立案に寄与する。

### 新規事業領域の拡大

地域の経済や企業等の動向を行政区ではなく、商圈域で捉え両翼（広島・北部九州）に事業領域を拡大するとともに新たなストック事業を提案し、事業化を進める。

## 主要施策（既存領域の深化と新規領域への浸透）

### 1 地域情報の深化

- ・消費動向調査等を拡充した地域経済情報誌に月報を再編
- ・YMfgエリア内の自主調査事業の拡充

### 2 山口県への浸透と広島・北部九州への領域拡大

- ・山口県内の自治体へのEBPMの支援、国策の提供
- ・広島・北九州への支所の設置と主要自治体への政策提言
- ・月報の掲載記事の広域化（広島、北部九州、国策等掲載）

### 3 新たな収益モデルの構築

- ・月報再編をキックに、新領域の会員や企業調査の獲得
- ・新たな収益事業の企画提案と事業化

## 実行計画

### 事業計画（2025年度）（千円）

	2025年
経常収益	49,410
うち受託調査事業	35,000
経常費用	49,156
経常損益	254
正味財産	51,468
うち基本財産	30,000

### 実施項目

#### ■ 組織

- ・研究所名称変更
- ・定款変更
- ・評議員・理事の見直し
- ・広島支所の新設
- ・北九州支所の新設検討
- ・ロゴ変更とHP改修

#### ■ 事業

- ・政策提言活動
- ・国策の情報収集の強化
- ・サブスク事業の企画
- ・月報再編
- ・自主レポートの発刊
- ・年報の発刊